

2025.7.18

北海道通信

エゾ鹿革の可能性等学ぶ 釧路新産業創造研が会合



【釧路発】サンエス電気通信㈱（釧路市）の宮田昌利社長が会長を務める釧路新産業創造研究会は16日、釧路市内のセンチュリーキャッスルホテルで第16回研究会を開催した。写真Ⅱ。宮田会長をはじめ約60人が参加。釧路地域における新産業の方向性や可能性等についての講話を聴講した。

開催に先立ちあいさつに立った宮田会長は、研究会が3年目を迎えたことについて、釧路におけるユークレナ実証実験やキングサーモンの養殖等についての研究会・報告会など、これまでの活動を振り返った上で「ことしは、プロジェクトにつながるようなものを」と

山口社長は「エゾシカは

個体が大きく、取れる革も大きい。ほかの産地にはない優位性があると強調し、加藤部長は「地元で愛されるものをつくって外に出すことが大事」と地域一体で取り組む重要性を語った。

第2部では「地方都市におけるデータセンターの可能性」と題し、ピクセルカンパニース㈱の吉田弘明前社長が講話。「AIが普及すればするほど、サーバーが必要になる」と昨今のた。

データセンター需要を説明し、コンパクトでスピーディーに設置が可能なコンテナ型データセンターなど、データセンター設置の選択肢について参加者に紹介した。

サンエス企業グループ代表 宮田昌利が会長を務める「釧路新産業創造研究会」の関係記事です

7月18日付の北海道建設新聞、北海道新聞にも同様の記事が掲載されました